

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 世田谷区立中里小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒 154-0024
世田谷区立三軒茶屋1-4-1

E-mail : dai014@setagaya.ed.jp

Website : http://www.setagaya.ed.jp/nato/index.htm

児童生徒数：男子 93 名 女子 70 名 合計 163 名
 児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (福祉 多文化理解)

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

研究主題「人とのかかわりを大切にし、ともに伸びる児童の育成」
～広げよう つなげよう 自分の世界（外国語活動）～

1 研究主題について

児童自身が自然や社会、様々な立場や考えをもつ人々と自ら進んでかかわる姿勢を育むことを目指している。かかわる対象や手段に広がりをもたせたいと考えた。そこで、今年度は、中里小学校としてとらえる3つの柱である環境、福祉、多文化理解の中の多文化理解に焦点を当てた。

児童にとって身近である家族や学校、地域のさまざまな人々とのかかわりを大切にしつつ、外国の言葉や文化、そこに住む人々とのふれ合い、かかわり合いにより研究主題に迫ることができるのではないかと考えた。

2 持続可能な発展のための教育（ESD）の趣旨と身に付けさせたい資質能力

本校では、ESDの趣旨を次の3つと捉えている。

- ① 持続可能な社会を構築するための担い手を育む。
- ② 体系的な思考力、代替案の思考力、情報収集・分析力、コミュニケーション能力、持続可能な発展に関する価値観を身に付けさせる。
- ③ 人や自然、社会との「かかわり」や「つながり」を理解し、それらを尊重しながら協働で課題解決に取り組むことができる児童を育てる。

本年度は、「コミュニケーション能力」「持続可能な発展に関する価値観」を身に付けさせることを重点的に取り組むことにした。そして、学習活動の中に、意図的にコミュニケーション能力を高める場面を取り入れた。

重点的に児童が身に付けてほしい「力」

コミュニケーション能力

自分の考えを相手にしっかりと伝えたり、友達の意見や考えを聞いたりする力

持続可能な発展に関する価値観

「環境」「福祉」「多文化理解」に関して、これからの社会を守る視点での様々な価値観

3 中里小学校の持続可能な発展のための教育の実践

(1) 研究仮説

外国語や外国の文化、外国の人々とのふれ合いやかかわり合いにより、様々な人に自分からかかわろうとする意欲が高まるであろう。

(2) 育てた力

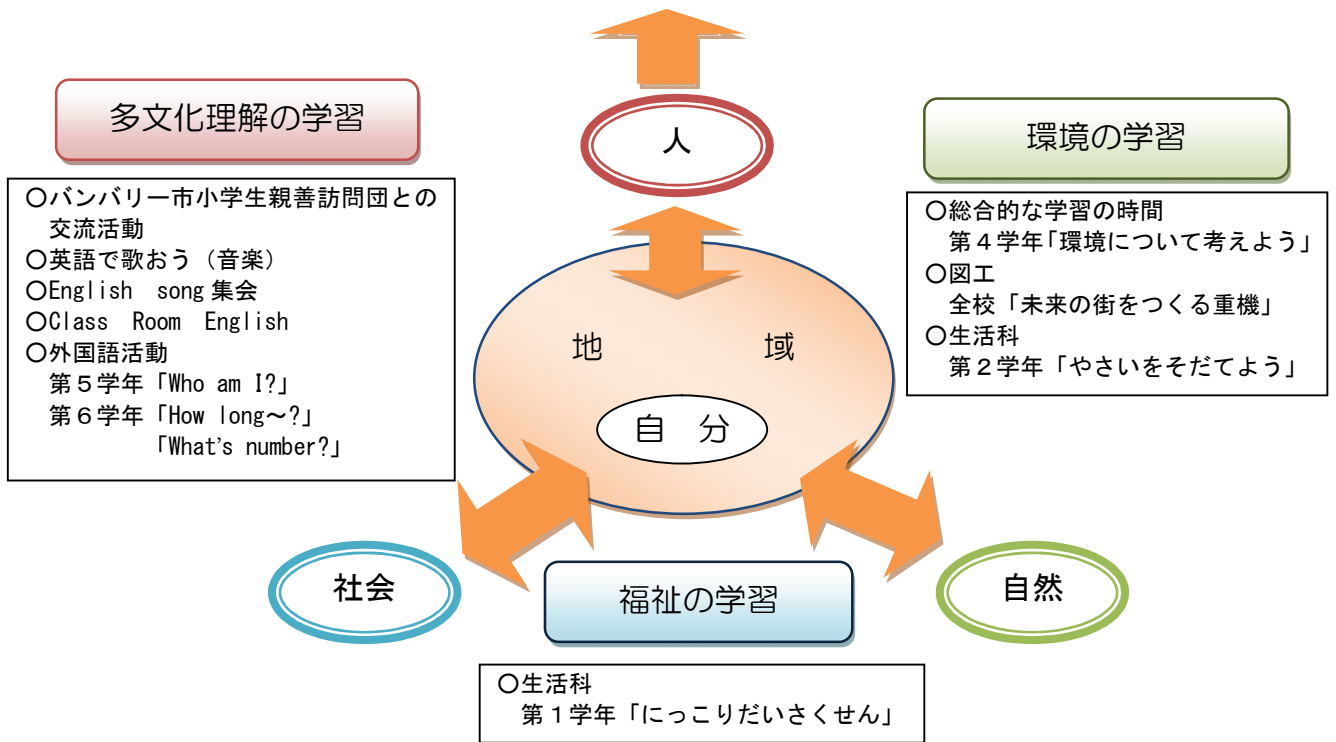
- ① いろいろな人に自分の思いを伝え、相手の思いを受けとめる力を育てる。
- ② 人とかかわり合うことの心地よさや楽しさを味わわせ、互いに認め合おうとする意欲や態度を育てる。

- ③身近な外国語を通して、世界に目を向け関心をもたせる。
- (3) 系統性をもたせた教育活動
 持続可能な発展のための教育は、発達段階に応じた系統性をもたせるとともに各学年の教育活動を横断的に実践することが重要である。そこで、各学年ESDカレンダーを作成し、見直しをもった教育活動を行った。

ESDを通して育てたい能力・態度

| | |
|----------------|-------------|
| 持続可能な発展に関する価値観 | コミュニケーション能力 |
|----------------|-------------|

- ① いろいろな人に自分の思いを伝え、相手の思いを受けとめる力を育てる。
- ② 人とのかかわり合うことの心地よさや楽しさを味わわせ、互いに認め合おうとする意欲や態度を育てる。
- ③ 身近な外国語を通して、世界に目を向け関心をもたせる。



4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容

本校は平成23年度からESDの研究を始め、平成24年度の研究発表を経てユネスコスクールに認定された。これまでの研究を継続しながら、かかわる対象や手段に広がりをもたせたいと考えた。そこで、今年度は中里小として捉える3つの柱（環境・福祉・多文化理解）の中の多文化理解に焦点を当てた。

児童にとって身近である家族や学校、地域のさまざまな人々とのかかわりを大切にしつつ、外国の言葉や文化、そこに住む人々とふれ合い、かかわり合うことで、研究主題である「人とのかかわりを大切にし、ともに伸

びる児童の育成」に迫れるのではないかと考え、1年間の取り組みを計画している。

| 学年 専科 | 様々な人とのかかわりを 大切にした実践 | 外国の言葉・文化・人と かかわる取り組み |
|----------|---------------------------------------|--|
| 1年 | にっこり大作戦(高齢者の方との交流) | ○クラスルームイングリッシュ (学校生活の中の簡単な指示を英語で話す。) |
| 2年 | やさいをそだてよう(1年生との交流) | |
| 3年 | わたしたちのくらしと買い物(身近な地域の人) | |
| 4年 | 環境について考えよう(地域の人) | |
| 5年 | 「Who am I? 私はだれでしょう?」 | |
| 6年 | 「How long~?」 「What's this number?」 | |
| 音楽 | 英語で歌おう(外国の文化に親しむ) | |
| 図工 | 未来の街をつくる重機(異学年交流) | |
| | | ○イングリッシュゲーム&ソング (みんなが楽しめる英語のゲームや歌の合唱を継続的に取り組む。) |
| | | ○バンバリー市小学生親善訪問団との交流活動 (相撲や剣玉など、伝統文化の紹介をはじめ、歌やゲームを通じた交流活動) |
| | | ○バンバリー市小学校との Skype 交流 |

(2) 授業実践紹介(一部抜粋)

多文化理解の教育

- ・第2学年 生活科 わたしの町をたんけんしよう
- ・第2学年 生活科 電車に乗ってでかけよう
- ・第3学年 総合的な学習 すみたい町づくり
- ・第3学年 社会科 昔の人々のくらし
- ・第4学年 総合的な学習 町に残る古い物調べ
- ・第5学年 社会科 私たちの生活と漁業
- ・第5学年 日本語 日本の伝統文化にふれよう
- ・第6学年 国語科 お礼にしたいあの人物
- ・第6学年 国語科 「なべ」の国 日本
- ・第6学年 総合的な学習 ふれあおう 日本の文化

福祉の教育

- ・第2学年 生活科 わたし大すき
- ・第3学年 総合的な学習 福祉を知ろう
- ・第4学年 総合的な学習 福祉って、いいな
- ・第5学年 総合的な学習 ユニバーサルデザインって、なあに?

環境の教育

【環境分野】

- ・第5学年 総合的な学習 守れ!ぼくらの地球号
- ・第5学年 総合的な学習 日本の米
- ・第5学年 家庭科 エコライフを工夫しよう

【食育分野】

- ・第2学年 生活科 魚と仲よし
- ・第3学年 総合的な学習 ソデイカの観察体験
- ・第5学年 総合的な学習 カツオの一本釣り体験授業

